

おおあらい

Vol.366



■実験でふしぎ発見（わくわく科学フェア・関連記事10ページ）



人にやさしいまちづくり

研究会活動報告 P. 2

Index

- 町政トピックス P. 6
- みんなのひろば P. 8
- 町のわだい P.10
- 暮らしの情報 P.12



お年寄りや障害者が豊かに安心して暮らせるまちを目指して

— 人にやさしいまちづくり研究会活動報告 —

大洗町には65歳以上の方が4千384人、高齢人口比率は全国と茨城県の平均値を上回る22・2%となっています（平成14年4月現在）。このうち630人の方がひとり暮らしです。また、夏期以外に町を訪れる宿泊観光客の40%以上が61歳以上の方というデータもあります。

高齢化社会が進む中、お年寄りや体の不自由な方が安心して外へ出かけることができ、ゆつくり買い物や散歩が楽しめるまちにすることが大切です。そのようなまちづくりは町の活性化に大いに役立つことが期待されます。

様々な観点から課題と魅力を探る

町では人にやさしいまちづくり研究会（委員長「茨城大学齊藤義則教授」）を組織し▼高年者クラブ▼ボランティア活動家▼大洗サーフライフセービングクラブ（夏期バリアフリービーチを運営）▼商店

や旅館・ホテルの店主▼社会福祉協議会▼大洗町職員▼茨城大学地域総合研究所・都市計画研究室の各メンバーの参加のもとに活動しています。

研究会は商店街部会（部会長「今関忠之氏」と宮下旅館街部会（部会長「石井藤一郎氏」）で構成され、それぞれのメンバーが地域の魅力、課題解決等についてアンケート調査と環境点検のデータを基に話し合いを進めました。



商店街で環境点検を行うメンバー

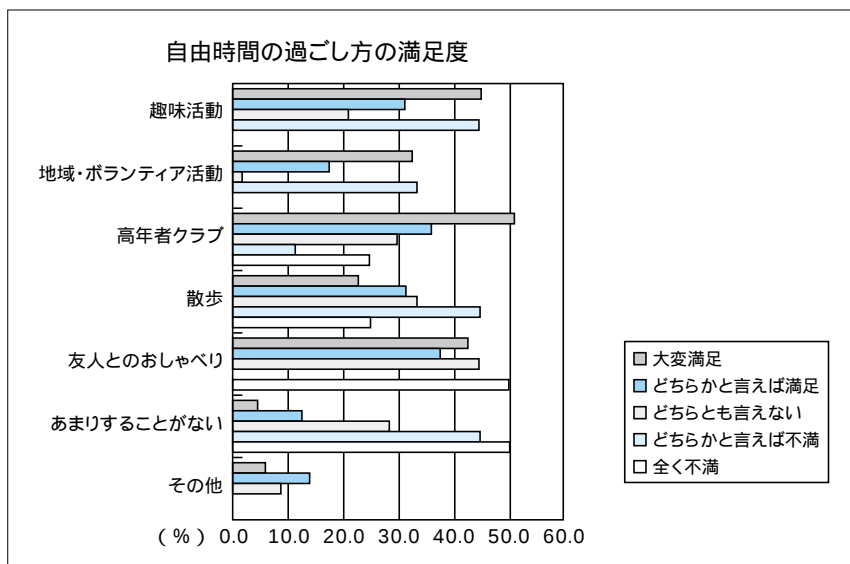
高齢者の生活実態アンケート（町内の高齢者健康づくりなどの活動参加者567人から回答）

1．家族との同居

62.5%が家族と同居していますが、18.4%の方がひとり暮らしとなっています。今回の調査ではひとり暮らしのうち8割以上の方が女性でした。

2．自由時間の過ごし方と満足度

過ごし方で多いのは、友人とのおしゃべり。次に高年者クラブ、そして趣味活動、散歩、地域活動・ボランティア活動と続きます。しかし、友人とのおしゃべりでの満足度は低く、地域活動やボランティア活動に満足・生きがいを感じている方が多いことがわかります。人とのコミュニケーションとあわせて、社会の中で自身が必要とされているという意識が生きがいを見い出すことができると考えられます。

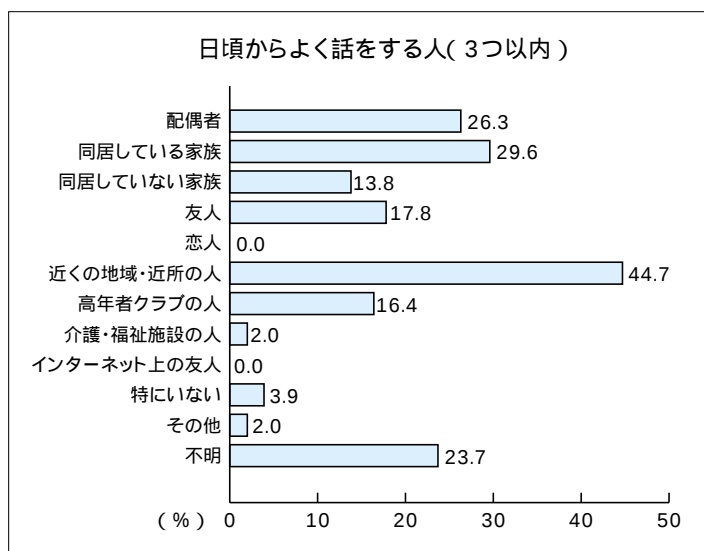
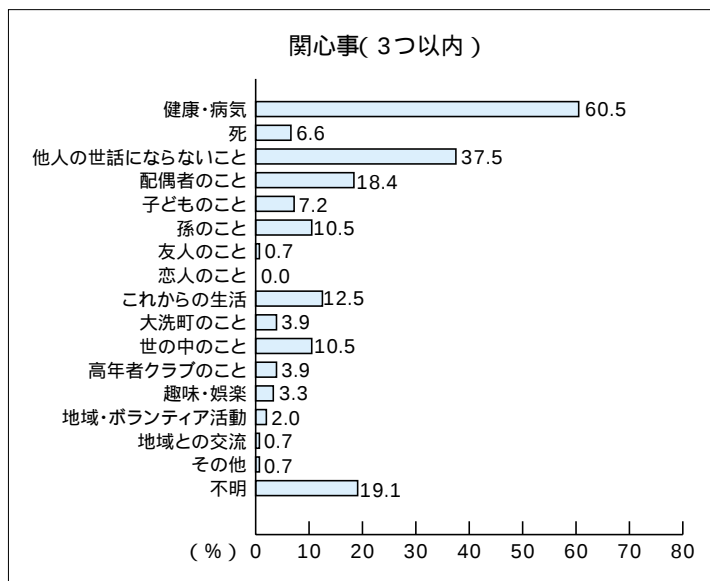


3. 買い物や通院などの日常生活

「自分の分と一緒に家族の分を買う」が27%、「家族に買い物をしてもらう」が25.6%で、自分自身での購買機会が多いことがわかります。また、通院も自分でしているというケースが35.5%。同居家族に送迎してもらっているが21.7%で、機会があれば自分の足で出かける高齢者が増えることが見込まれます。

4. 関心事・不安事・コミュニケーションについて

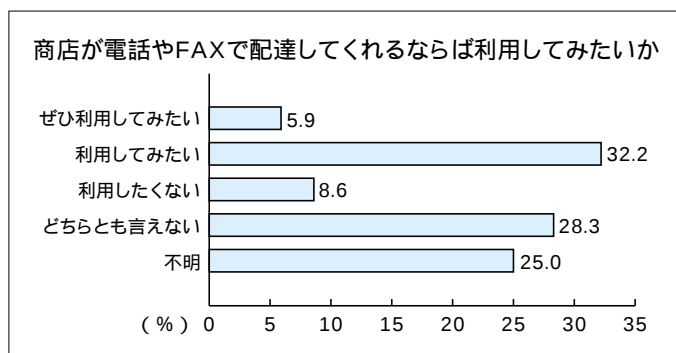
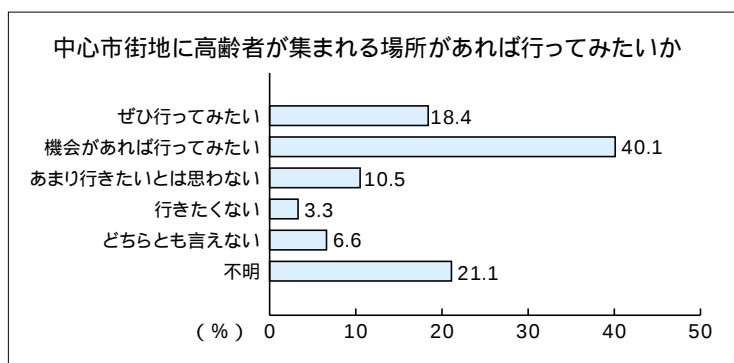
自分の健康や病気のことについて関心が強く、人の世話にならないことについても関心度が高いようです。今後の生活や世の中のことに関心や不安を持っていることがわかります。



日頃からよく話をする人で多いのは、地域の人・近所の人。次いで同居家族、配偶者、友人、そして高齢者クラブのメンバーとなっています。一方で、これはあいさつや世間話だけにとどまり、悩み事やプライベートな話はやはり家族や配偶者にとということのようです。

5. 商店街との関わり

商店街に気軽に集えるところがあれば行ってみたいという方が、58.5%。そして電話やファックスでの注文・宅配を利用したいと答えた方も38.1%となっており、商店街をこれからも生活に密着した生活基盤として利用したいという方が多いことがわかります。



地元商店街の福祉マップアンケート調査

曲松、永町、髭釜、大貫商店街全店舗に実施（108軒から回答をいただきました。）

このアンケート結果から、90.7%の商店が高齢者や障害者を歓迎するとの回答がありました。地元商店街は、設備面でのバリアフリー対応はまだ整備されておらず、時間がかかりますが、客と地域が密着した交流を提供できるだけでなく、買い物の手助けもできるような心のバリアフリーという面から積極的な取り組みの姿勢をもっていることがわかりました。

商店街部会検討事項

【基本方針】今ある良さを活用し福祉と連携による商店街のにぎわいを回復する。

- 歩行者空間の確保
道路交通の見直しや迷惑駐車 の撤廃・電柱の地中化など
- 高齢者・障害者との交流促進
空き店舗を利用した高齢者交流スペースの設置、電話・ファックス利用による買い物支援など
- にぎわい回復
路地を活用して港町の雰囲気 をPR、レトロなイメージの活用など

今後の課題

商店経営者以外の住民の方々からの様々な意見について話し合いを重ね、個々の商店で対応できること、空き店舗の活用など、今できることから実践していく。



段差がなく、車椅子の方にも利用しやすい入口（常陽銀行大洗支店）

宮下旅館街の福祉マップアンケート調査

（旅館・ホテルから回答をいただきました）

宿泊客の横ばい、減少傾向が続くなか、アンケートでは66.7%の旅館・ホテルが高齢者や障害者の利用を歓迎すると答えており、高齢者や障害者が新たな客層として注目されていることがわかります。一方で高齢者、障害者が一人でも宿泊できると答えたのは8.3%にとどまっており、単身で泊まる場合の受け入れ態勢に関してはまだ不安な面があり、判断しかねている状況があるようです。

宮下から海岸に抜ける遊歩道



宮下旅館街部会検討事項

【基本方針】コミュニケーションの回復と継続

今ある良さの再発見と活用

- 交流連携の強化
磯前神社をはじめ住民、ボランティア団体と交流・連携を深め、経営者間で連携を深める
- “品位”を感じられる旅館街
歩道の整備、ゴミ集積所の検討、障害物の撤去など
- 地域資源の再発見
海岸遊歩道の散策ルート の設定、オープンカフェなどの活用

今後の課題

長期的に宮下地区の持つ共通の課題が見えてきました。実際の営業に関することなので地域においての更なる話し合いを進めていく。

第一回ワークショップ 環境チェック 商店街編

ここはいいな、残したいな
(地域の宝物)

歩いてみて感じたこと

- ・商店街を歩いている方は年輩の方が多い
- ・一人暮らしの方が商店街にもっと足を運ぶような雰囲気をつくる
- ・お茶を飲みにちょっと寄れるような雰囲気づくり
- ・路上駐車、店舗入り口の段差やスロープがないなどの問題点



バス停のいす
お年寄りの憩いの場

タイルが同じなどの統一感、
駐車スペースが○



ポンプ式の井戸



歴史を感じさせる建物

なつかしの駄菓子屋さん



レトロなポスト

これからの取り組み

バリアフリーでの取り組みは、歩行者が主体となった交通体系の見直しや、通路の段差解消などの構造面でのバリアフリーと、利用する全ての人を思いやる心のバリアフリーが一体となって初めて実現可能となります。

今回の商店街部会と宮下旅館街部会では、すぐにでも取り組めるような具体的提案がたくさんありました。人にやさしいまちづくりに消極的な人たちにもこの重要性に賛同していただき、具体的な行動目標についてプロジェクトチームを編成し、実践しながら運営体制を確立してゆくことにしています。

多くの意見を反映した人にやさしいまちづくりによる活性化の実現に向けて進めていきます。より多くの方々のご参加をお待ちしています。

申込み・問合せ 町長公室 まちづくり担当 ☎267-5111(内線213)

全国どこの市区町村でも
住民票の写しの交付が受けられます。

平成15年8月実施予定

町政 トピックス

住民基本台帳ネットワーク

システムの構築を進めていきます

—住民の皆さんへのサービス向上を目指します—

住民基本台帳ネットワークシステムとは、総務省により、住民へのサービス向上と各官庁の行政事務の効率化を図る目的で、国および都道府県と、全国の市区町村の住民基本台帳を電話回線（インターネット）で結び、本人の確認を効率よく行うシステムです。

平成15年8月を本格稼働の予定で準備が進められています。

システム稼働後は、全国どこの市区町村でも住民票の写しの交付を受けることができ、住所地を移動した場合の転入・転出時の申請事務の簡素化などが図られます。システムを運用するにあたり、平成14年8月頃に住民票に記載される「住民票コード」（個人番号）を皆様に通知いたします。必ずご確認ください。

住民票の写しをとるために、
仕事を休まなくちゃならないわ



住基ネットで、
どこでも住民票の
写しがとれます!

住民基本台帳カードで
いろいろなサービスが受けられます。

印鑑登録証や公共施設利用カード、
たくさんのカードがあって大変だ



住民基本台帳カードが
希望者に交付されます。
また、このカード1枚でいろいろな
サービスが受けられます!

住民基本台帳カードを持っている方は、
転入転出時に窓口に行くのが一回ですみます。

引越しの忙しい時に
2回も役所に行くのは大変ね



住民基本台帳カードを
持っている方は、窓口に行くの
が転入時の一回ですみます!

問合せ 大洗町役場住民課

☎267-5111 内線112・113

総務省・指定情報処理機関のホームページ
でもご覧いただけます。

http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/rpo/juki-net_top.htm



大洗わくわく科学館 来館者20万人達成

大洗わくわく科学館が5月5日に来館者20万人を達成いたしました。

20万人目の幸運な来館者は、埼玉県からゴールデンウィークを利用して大洗町に訪れた海老沼さんご一家。

20万人達成式典では、飯島館長からガリレオ温度計やエコはがきが記念品として贈呈されました。

アクアワールド・大洗入館者50万人

5月24日、アクアワールド・大洗がオープン65日目で入館者50万人を突破しオーシャンシアターで記念セレモニーが行われました。50万人目の入館者となったのは龍ヶ崎市の鴻巣さんご一家。「まだ出来たばかりなのにもうそんなに人が来ているのですか」と驚かれていました。

また、セレモニーでは、イルカのジャンプやステージへのランディングも行われ、遠足で訪れた幼稚園児など約800人から歓声があがっていました。



観光の町大洗

ゴールデンウィーク中たくさん のお客様でにぎわいました

ゴールデンウィーク期間中（4月27日～5月6日）県内外から町には多くのお客様が訪れました。おさかな市やわくわく科学フェア、マリインタワーふれあい広場や港中央公園野外ステージの竣工イベントなどが開催され、訪れたみなさんは好天に恵まれた休日を楽しんでいました。

大洗マリインタワー隣
に港中央公園野外ス
テージが完成 5/3



新鮮な農水産物が並び
にぎわいを見せたおさ
かな市 5/4～5/5



連休中の各施設入場者数

施設名	4/27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	5/1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)	6 (月)	合 計 (10日間)	平成13年度 (9日間)
サンビーチキャンプ場	119	114	33	12	13	73	278	107	119	17	885	977
アクアワールド大洗	6,923	15,843	14,230	5,368	6,074	8,823	21,155	25,280	27,669	14,455	145,820	40,917
大洗マリインタワー	728	2,103	1,336	246	362	560	2,179	3,067	2,332	1,384	14,297	13,041
ゆっくら健康館	695	1,098	849	429	休	568	1,418	1,932	1,365	861	9,215	9,576
幕末と明治の博物館	49	169	95	休	46	83	183	287	245	102	1,259	826
大洗キャンプ場	164	175	86	17	14	150	1,395	525	193	33	2,752	1,761
大洗わくわく科学館	1,136	2,339	1,869	休	378	344	2,496	3,752	4,029	1,681	18,024	
合 計	9,814	21,841	18,498	6,072	6,887	10,601	29,104	34,950	35,952	18,533	192,252	67,098

随 想

にぎわいを活かしみんなの力で
新たなまちづくり

大洗町長 小谷隆亮

「今年のゴールデンウィークの来遊客はどうだろう」大きな期待をして連休を迎えました。

期待どおり、アクアワールドには期間中約14万5千人が訪れ、駐車場対策でサンビーチから運行させたシャトルバスに大勢の行列ができ、循環バス利用者も期間中4千人余が利用されました。また食堂やレストラン、宿泊施設もこれまでにないにぎわいを見せました。

こうした来遊客を予想して開設したおさかな市にも多くの方々が訪れ、出店された方も忙しく魚市場は活況を呈しました。

そのにぎわいの反面、交通渋滞の苦情や食事場所が少ない、休憩所等が不足しているとの声もありました。受け皿がないとせっかくのお客様が他に流れていってしまいます。食事場所や休憩所、買い物を楽しめる所を充実させていくと大洗の魅力がより高まるのではないでしょう。

リピーターを確保し来遊客数を安定させ、どのようにして我が町の元気づけにつなげるか、つまり地域産業と来遊客をつかりと結びつけることが重要であります。

5月26日、町の魅力づくりを検討する「連携と交流によるまちづくりシンポジウム」を開催いたしました。シンポジウムには漁業、農業、水産加工業、商業、飲食業、旅館業など異業種の方々や大学教授やジャーナリスト、学識経験者等に参加をいただき活発な意見交換がなされました。

これまでの観光地は温泉や施設、自然景観などに依存してきたように思います。これからは、その地域が培ってきた文化、生活の知恵や技を活かした取り組みが必要であります。大洗のすばらしい自然環境を活かした「海の学校」や異業種連携で取り組む「地産地消」などを考えております。当日、漁協婦人部、JA女性部、食生活改善推進員連絡会の皆様のご協力による大洗の素材を使った海山彩弁当は、200名の参加者に大好評でした。今こそ大洗の持っている自然や食や人を活かし、人が輝き、町が輝くまちづくりをみんなの力を合わせて盛り上げていきましょう。